



夏のオススメ本紹介

YA担当より

暑い夏。楽しいイベントがいっぱいでわくわくしている人も多いのでは？
 体調管理に気を付けて、楽しい夏を過ごしましょう！
 暑さにつかれた時には…涼しい場所で読書なんていかがですか？
 ぜひヤングコーナーに足を運んで、お気に入りの一冊を見つけてみてください。

①
「105にんのすてきなしごと」
 カーラ・カスキン／文
 マーク・シーモント／絵
 あすなろ書房
 YA書架 E 廿



105人も一緒にする仕事って何を思い浮かべますか？
 物語は、金曜日の夕方からはじまります。105人、それぞれが仕事に向かう前にお風呂に入ったりシャワーを浴びたり。ページをめくるたびに、ちょっとずつ準備がすすんでいきます。105人が105個のドアをあけ、105本の道を歩きたどり着いたその先で行う仕事とは…。
 たまにはゆっくりとした時間に、シンプルな絵と文章の絵本を手で過ごしてみたいはいかがですか？



②
「刑務所しか居場所がない人たち
学校では教えてくれない、障害と犯罪の話」
 山本 譲司／著
 大月書店
 YA書架 326 ヤ



「刑務所にしか居場所がない人」がいることを皆さんは知っていますか？実際に刑務所に服役したことのある作者が、刑務所のことや社会福祉について説明した本です。
 テレビや本などで一度は目にしたことがある言葉やまったく聞いたことがないようなことまでいろいろのっています。
 刑務所や社会福祉のことを少しのぞいてみませんか？

③
「放課後の文章教室」
 小手鞠 るい／著
 偕成社
 YA書架 816 コ



「読むことは好きですか？ 書くことは好きですか？
 好きな人もきれいな人も、得意な人も苦手な人も、これから私といっしょに、文章の森に迷いこんでみませんか？」
 小説家による文章教室、開講です。読書感想文の悩みから、小説やエッセイの書き方、さらにはSNSの文章まで、若い読者から寄せられた質問に丁寧に答えます。この本を読み終わる頃には、きっと、文章を書いてみたくなることでしょう。



④
「神さまのいる書店」
 三萩 せんや／著
 KADOKAWA
 YA書架 ミハ



本好きは、共感できる！！
 本好きの高校生ヨミは本の世界が居場所だと思っている。
 司書教諭のノリコから夏休みにバイトをしないかと、とある書店を紹介される。しかし、そこは魂の宿る生きた本を扱っている『まほろば屋書店』だった。本たちが紡ぐ、書店ファンタジー。



YAとは…ヤングアダルトの略で、「子どもでも大人でもない世代」のこと。13歳から19歳くらいが主な対象です。